

# うに郷通信

No.143  
令和3年(2021)6月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

## ふれあい喫茶より

ふれあい喫茶を始めて10年、早いものです。準備をしている時に家族からの連絡で東日本大震災を知り、帰宅してテレビで見たのが嘘のような驚きの映像でした。こんな時期にふれあい喫茶を初めても良いのかと、後ろめたさが残るオープンでした。



でも地域の皆様に支えられて、また力強いスタッフ達と、共に笑いこぼしながら力を合わせ、知恵を絞って10年が経ちました。4月には記念としてモーニングのサービスをさせていただきました。密を避けるため天気も良かったので外にもパラソルとテーブルを置き、楽しく歓談をしていただきました。満席のためお待ちいただいた方、申し訳ありませんでした。皆様の憩いの場として、またいろんな方との出会いや再会の場になればと思っています。まだ来られていない方、どうぞ遠慮なく一度覗いてみてください。殺風景なプレハブに花を飾り、笑顔満載のスタッフ一同でお待ちしております。(ふれあい交流広場)

## 油谷川ホタル観察会のご案内

油谷川のホタル観察会も9年目になりました。圃場整備や河川改修が完了した平成の初め頃には、ほとんど見られなくなりましたが、観察区域で毎年ホタルの飛び交う様子が確認できています。国正町の黒崎忠彦さんのご支援でカワナナの放流も続いています。コロナ禍ではありますが、十分注意をしながら行います。

1. 観察日 6月5日(土曜日)・6日(日曜日)  
※雨天の場合は中止
2. 集合場所 宇仁小学校体育館前  
時間 午後7時45分…参加者確認のうえ、8時出発
3. 観察場所 油谷川(高月橋から大歳神社付近)  
※午後9時頃体育館前に戻り解散
4. 注意事項
  - ・マスクを忘れない、長ズボン、長袖、長靴で。
  - ・懐中電灯を用意。草むらには入らないこと。



(里山・川環境整備部会)

## 宇仁の花苗を地区の皆さんに配りました



5月1日(土)宇仁の花苗が宇仁郷6町で一斉に配られました。このうち国正町では午前8時から公民館で花苗配り担当者4人が出て、取りに来られた花好きの住民に3鉢ずつ袋に入れて渡しました。

今回の苗は3月21日(日)に宇仁の花苗作りのボランティアが青野町・桜井ハウスでポット上げし、その後水やりと肥料やりを続けて育てました。種類はベゴニア、ペンタス、トレニア、マリーゴールドです。ほかにペチュニアも育てていましたが、途中でナメクジの食害に遭いダメになりました。苗を作るためにボランティアたちは陰の苦勞をされていることを知りました。

住民約50人が取りに来られ、残った苗約30鉢を国正町のコミプラのプランターに植えました。梅雨どき、真夏から秋口まで各家庭のプランターを美しく飾ってくれることでしょう。花苗作りの皆さんに感謝です。

(国正町・花苗配り担当者)

## 宇仁小学校の思い出 ③

古希を迎えた正月過ぎに懐かしい宇仁小学校を訪ねました。八王子会館の前を通り校門の坂を上ると一面に碎石が敷き詰められ、八王子神社への石段と図書室とが校舎のあった場所を示すばかり。学校のシンボルと言われた体育館横の大王松には衰えが感じられ、年月の経過を実感しました。そして、かつての宇仁幼稚園に続く狭い急階段の上から新校舎を眺めていると現職の頃のことが次々と思い出されました。

事務局の教頭として参加した平成 10 年の校舎改築促進期成同盟発足総会。校区の方々の小学校への熱い思いがひしひしと感じられました。後日、ステッカーの取り扱いのことで親しい先輩から注意を受けたことも今では懐かしい思い出です。

「お帰りなさい」の声に迎えられ校長として赴任した平成 16 年。校区の方々の努力と協力により新校舎建設予定地が造成されたものの、雑草が目立つばかりでなかなか校舎建設の承認が出ません。炎天下に職員や保護者の方々と一緒に取り組んだ運動場用地での雑草処理。冬場に霜柱を踏んで実施したとんどやマラソン大会。地域の方々による朝市やコスモまつりをはじめとしたまちづくり活動。そのような学校・家庭・地域が一体となった事業展開のおかげで校庭の暗渠工事や予定地全体の整備が進んでいきました。

しかし、当時一番ネックとなったのは児童数の減少問題でした。それを突き動かしたのは子ども達を中心となった挨拶運動やよさこい踊り、中学校や高等学校での卒業生の活躍でした。小規模校ならではの確かな教育実践と共に様々な人たちの努力と情報発信の成果が平成 26 年の校舎改築記念式典に繋がったと思います。

私にとって宇仁校区の一番の魅力は、歩道橋の下で交通当番をしている時に大きな声で挨拶しながら通り過ぎる高校生の姿でした。こんな子ども達を育てる宇仁郷の気風をいつまでも大切にしたいものだと思っています。

(H16.4.1~H18.3.31 校長 永田岳巳)



## 宇仁郷のあゆみ 第一章 宇仁郷の黎明期③

### 中国自動車道の開通

中国地方のほぼ中央部を東西に貫く形で建設された自動車道で、昭和 58 年(1983)に全線開通しました。東北自動車道に次いで長い総延長は 5,401km(吹田~下関)の自動車専用的高速道路です。中国地方の「背骨」として計画され、山陽地方からも山陰地方からもほぼ等距離にアクセスできる位置に建設されました。

名神高速自動車道はほぼ直線ですが、中国自動車道は山間部を縫って走るため制限速度は 80 kmに制限されています。特に、山陰地方の各都市から京阪神への時間短縮が図られ、他地域との交流上欠かせない重要な交通ルートになっており、経済効果も大きいものがあります。平成 9 年(1997)に山陽自動車道が開通し、車の流れは山陽自動車道に一部シフトしましたが、現在滝野社IC~加西IC間の交通量は 2 万台/日程度走行しています。

近年、高速バスの便数も増え、泉バス停においては大阪行きが 16 往復、神戸(三宮)行きが 17 往復に増えています。大阪・神戸へのアクセスが便利になり、1 時間あまりで行けるようになりました。通勤客も増え無料駐車場も 25 台から令和3年1 月には第 2 駐車場がオープンして 50 台の駐車が可能となり、水洗トイレも完備されています。



県道 370 号野上河高線高架からの中国道



泉バス停第2駐車場

### 編集後記・雑感

新型コロナワクチンの接種は、2021 年 2 月 17 日から医療従事者を対象に、そして高齢者への接種は一部の市町村で 4 月 12 日に開始、5 月以降全国で進められています。政府の思惑とは違い予定通りに進んでいないという状況ですが、高齢者や基礎疾患を有する方等への接種を早く終え、続いて一般の方の接種へと進め、多くの方が免疫を持つことで感染が広がりにくくなる、いわゆる「集団免疫」の状態を早く獲得して、新型コロナを忘れる日が来ることを切に願っています。